

資料－2

(仮称) 母島無電柱化事業

事業概要 ご説明資料

2023年 9月4日

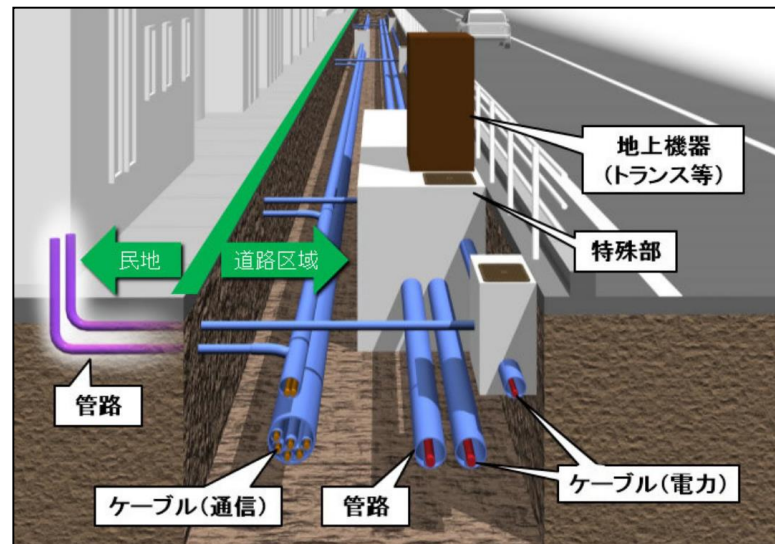
1. 無電柱化事業の概要

■ 防災機能の強化や良好な景観創出

- ・激甚化する台風等の自然災害に対して、
停電・通信障害の被害防止

地中化による無電柱化（電線共同溝方式）

道路管理者（支庁）が道路の地下に電線（高圧及び低圧電力、通信ケーブル等）を収容する管路等を敷設し、その中に電線を収容する方式



電線共同溝イメージ 出典：国土交通省Web



整備前

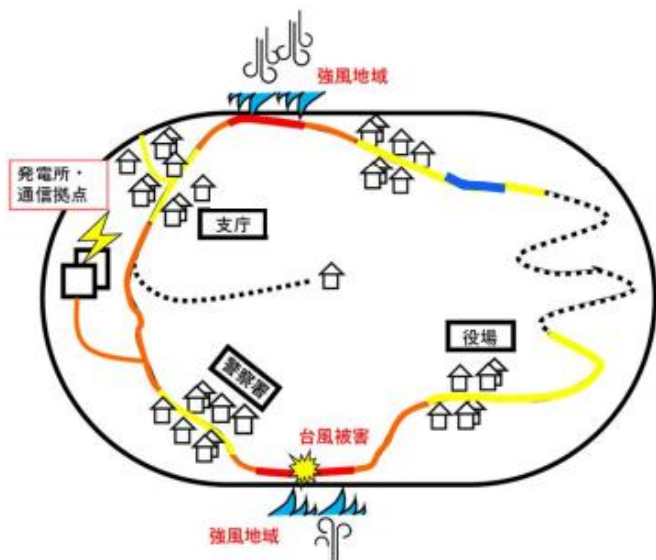






整備後

効果イメージ（大島町差木地）

1. 無電柱化事業の概要

- 東京都では、「島しょ地域無電柱化整備計画」を策定し、本計画の整備方針に則り、以下の通り計画的に整備を推進



区分	整備区間と目標
	緊急整備区間 2025（令和7）年度までに完了
	優先整備区間 2030（令和12）年度までに完了
	一般整備区間 2030年代の完了を目指す
	拡幅整備等の実施（予定）区間 拡幅整備等に併せて順次無電柱化を行い、 2030年代までの完了を目指す

整備イメージ・整備目標 出典：東京都建設局Web



母島無電柱整備計画図 出典：東京都建設局Web

2. 無電柱化整備区間

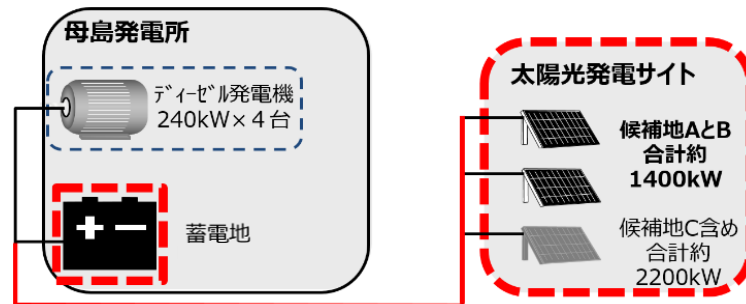
■ 母島発電所～各サイト間における約2kmの緊急整備区間を無電柱化

路線名：一般都道 沖港北港線（第241号）

工事箇所：東京都小笠原村母島評議平～
同村母島中ノ平

事業者：東京都小笠原支庁

道路延長：約2000m



整備イメージ



出典：地理院地図（電子国土Web）

3. 無電柱化整備スケジュール

※ 工程表は現時点での予定のため、
進捗状況によって変更することがあります。

工種	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
試掘調査	試掘			
電線共同溝本体工事	本体工事			
引連工事	引連設計	引連工事		
ケーブル入線工事 機器設置工事		入線工事		
抜柱工事			抜柱	
道路本復旧工事			本復旧	
事務手続き関連	事務手続き			
環境調査	環境			

電線共同溝本体工事



ケーブルの入線と
引込管工事



電線・電柱の撤去
舗装復旧工事



4. 工事実施に関する情報

1. 工事の請負会社

- ・株式会社関電工 社会インフラ統括本部

2. 請負会社の実績紹介（無電柱化工事）

- ・一般都道大島一周道路（第208号） 波浮港地区電線共同溝工事 約510m 2021年度完了
- ・一般都道大島一周道路（第208号） 差木地地区電線共同溝工事 約280m 2021年度完了
- ・一般都道父島循環線（第240号） 電線共同溝工事 約800m 2013年度完了

3. 工事実施日および作業時間等について

- ・平日（月曜日～金曜日）と、隔週（2週間に1度）土曜施工とします。
※悪天候・進捗等による工程調整のため、日・祝祭日作業が発生する場合があります。
- ・工事実作業時間については午前8:00から午後5:00までとします。前後30分は準備や後片付けの時間とします。
- ・工事実施に際しては、常設作業帯を設置し、片側交互通行による交通規制を行います。
- ・工事車両の出入りの無い規制箇所（コンクリート養生箇所）については、作業帯の前後に信号を設置いたします。また、現場作業中の箇所について交通誘導員を配置いたします。
- ・整備対象道路に接続される脇道を施行する際は、通行止めが必要となる場合がございます。実施に際しては、事前に関係者様へご相談の上、施行日時調整をさせていただきます。

4. 工事実施に関する情報

4. 工事安全対策

工事の遂行に当たり、人身及び施設に関する事故、公衆への災害、又は迷惑となる事態の発生を防止するため、万全の予防措置を講じ万一災害が生じた時は、適切な初期対応とそれを最小限にとどめるよう最善を尽くします。

- 安全装備品の整備や作業服・ヘルメットの着用など基本となるルールを順守します。
- 交通安全については、諸法規・規定・基準に基づき万全を期し、常に交通安全を確保します。資機材の運搬の際には安全を最優先とし、地元車両の通行優先に努めます。
- 工事範囲内への第三者立ち入りを防止し、注意看板を明示します。
- 使用重機については低騒音低振動型のものを採用致しますが、コンクリート舗装を撤去する際、小割にするため打撃音や破碎音が発生する場合がございます。
- 工事現場内及びその周辺については、車両の整理、資機材の整頓及び環境美化に努めます。
- 火気を使用する際には消火設備の配置など、十分注意致します。